

H19台風11号洪水における吉野川水系(早明浦ダム)の洪水調節効果について

台風11号による降雨量は、早明浦ダム上流域で約443mm、また銅山川流域で約260mm、吉野川上流域(池田ダム全流域)では約227mmを記録しました。
(9月17日8時現在)

この降雨による洪水に対し、早明浦ダムでは洪水調節を行い、下流の被害軽減に努めました。

・吉野川本川の早明浦ダムでは、最大流入量毎秒1,930m³に対して、毎秒59m³を放流し、毎秒1,871m³の洪水を貯め込みました。

この結果、今回の早明浦ダムでの洪水調節による水位低減効果は以下の通りです。

- ・早明浦ダム下流の本山橋(高知県長岡郡本山町)地点で約4.0m
- ・吉野川本川三好大橋(徳島県三好市井川町)地点で約1.6m

平成19年09月17日

吉野川ダム統合管理事務所
独立行政法人水資源機構 池田総合管理所

お問い合わせ先

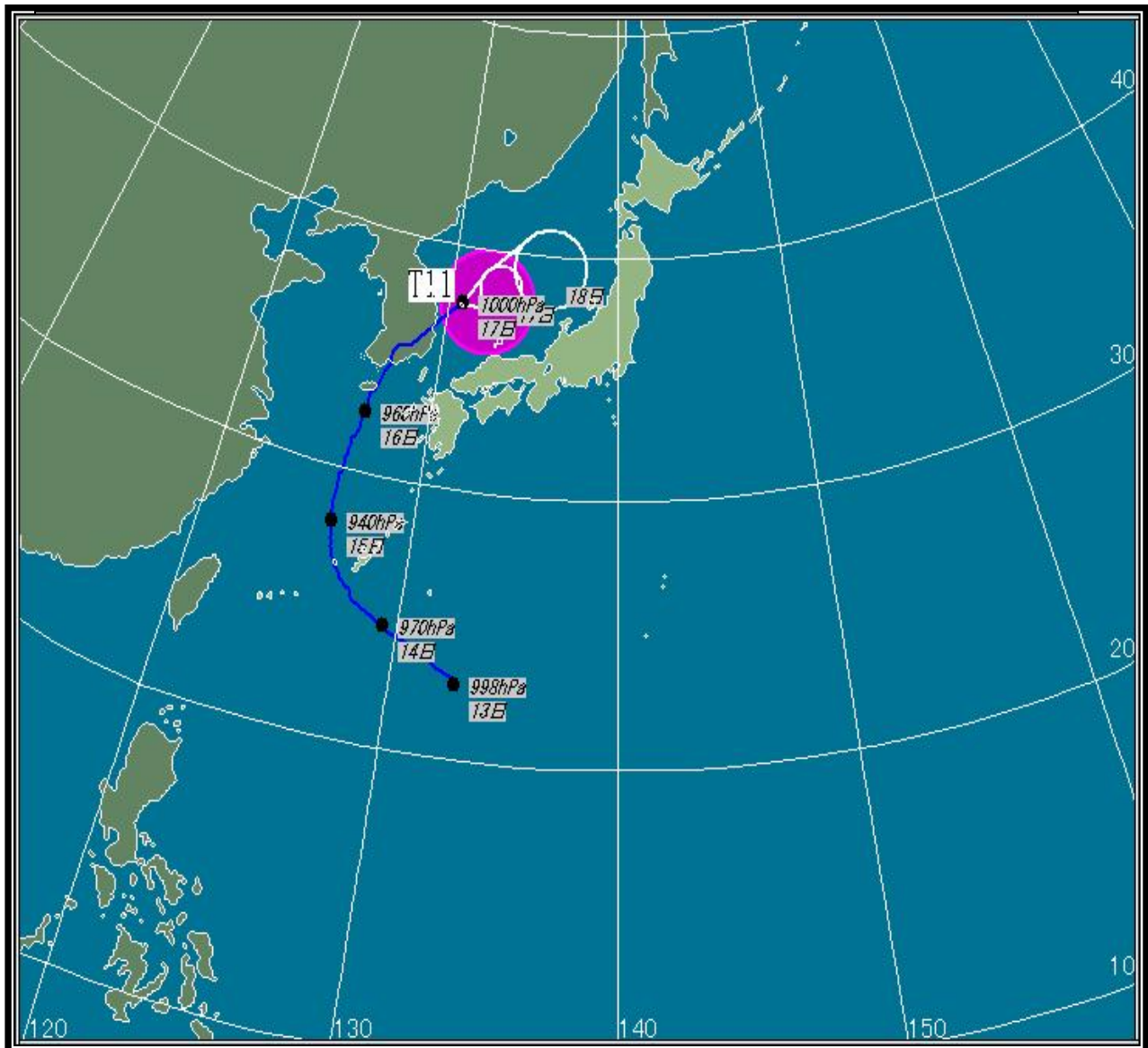
国土交通省 吉野川ダム統合管理事務所
管理課長 松本 司 (内線331)
(TEL) 0883-72-3000
独立行政法人水資源機構 池田総合管理所
第一管理課長 宮内茂行(内線331)
(TEL) 0883-72-2050

注) 本資料における数値については、平成19年9月17日8時現在の速報値であり、今後修正される可能性があります。

1. H19台風11号洪水における早明浦ダムの洪水調節効果

①台風状況

日本の南海上の熱帯低気圧が急速に発達し、9月13日15時に台風11号となった。台風11号は太平洋高気圧の縁を回るように北西から北寄りに進路を変えながら北上し、九州からやや離れて通過したが、本州付近にある秋雨前線に台風の湿った空気が流れ込み前線が活発化し、四国地方に局地的な大雨をもたらした。



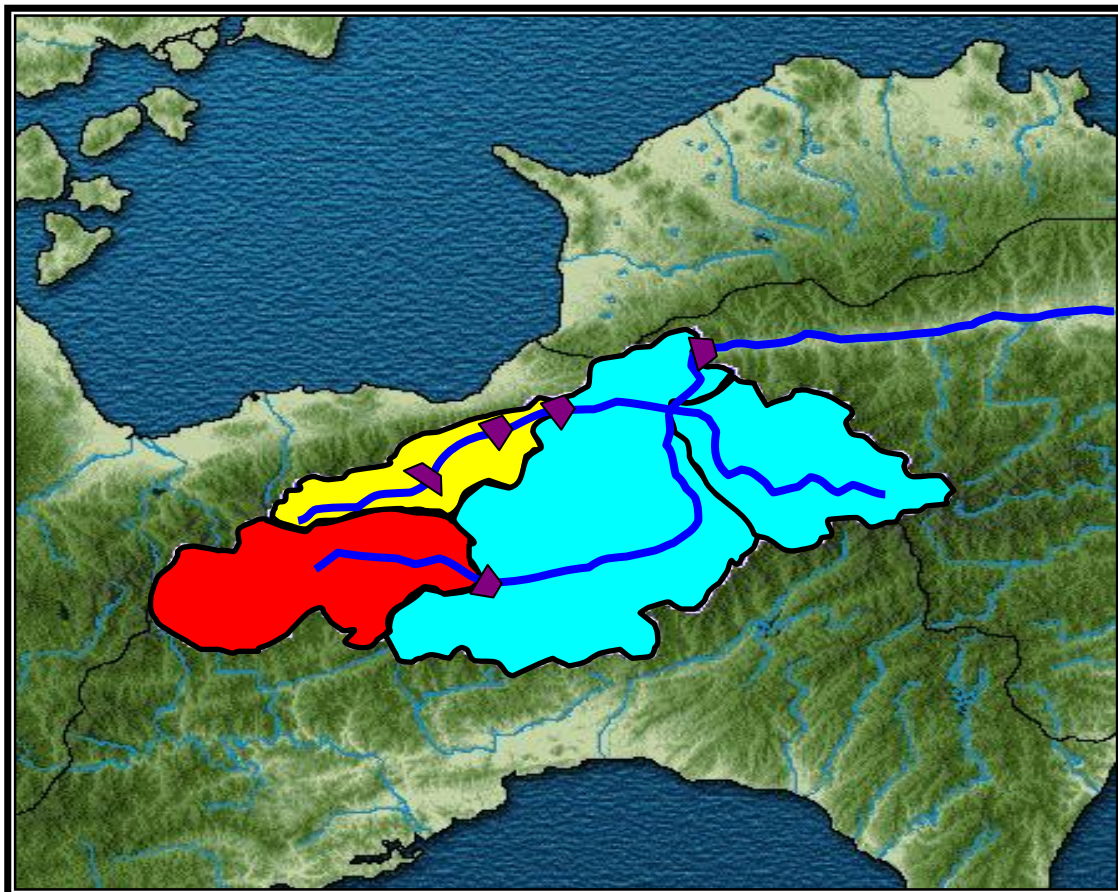
②降雨状況

◆ 吉野川における流域平均雨量 ◆

	吉野川 (早明浦上流域)	吉野川 (早明浦下流域)	吉野川 (池田全流域)	祖谷川 (祖谷川流域)
降り始め	9月14日03時	9月14日02時	9月14日05時	9月15日08時
総雨量(mm)	約443 mm	約180 mm	約227 mm	約59 mm
時間最大雨量	9月16日 22時～23時 87 mm	9月17日 7時～08時 40 mm	9月16日 22時～23時 87 mm	9月16日 16時～17時 16 mm
時間最大雨量観測所	長沢	溜井	長沢	東祖谷

◆ 銅山川における流域平均雨量 ◆

	銅山川 (富郷上流域)	銅山川 (富郷～柳瀬流域)	銅山川 (柳瀬～新宮流域)	銅山川 (新宮全流域)
降り始め	9月14日05時	9月15日19時	9月15日17時	9月14日05時
総雨量(mm)	約345 mm	約200 mm	約120 mm	約260 mm
時間最大雨量	9月16日 17時～18時 49 mm	9月16日 17時～18時 49 mm	9月16日 18時～19時 23 mm	9月16日 17時～18時 49 mm
時間最大雨量観測所	富郷	富郷	柳瀬	富郷



総雨量図

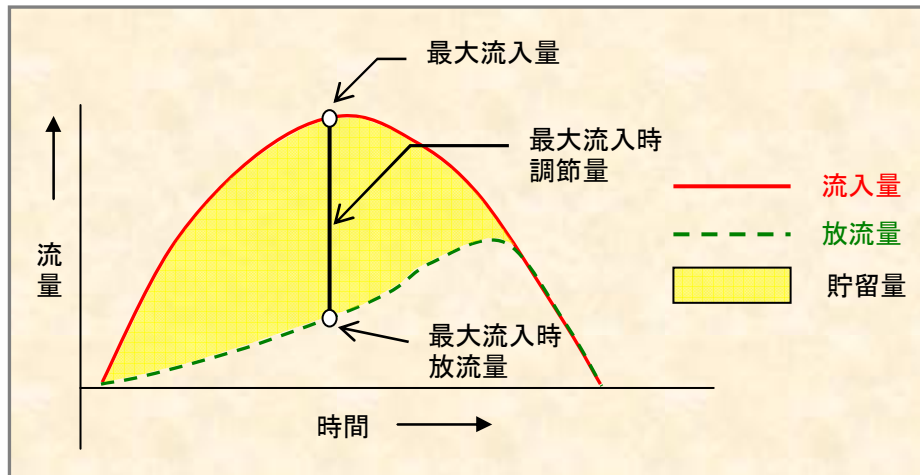
凡 例

- : 400 mm 以上
- : 300 mm ~ 400 mm
- : 200 mm ~ 300 mm
- : 200 mm未満

③ダム諸量

早明浦ダム	
洪水流量	800 m ³ /s
最大流入量	1,930 m ³ /s
観測時間	9月17日01時10分
最大流入時放流量	59 m ³ /s
最大流入時調節量	1,871 m ³ /s
ダム貯留量	6,179 万m ³

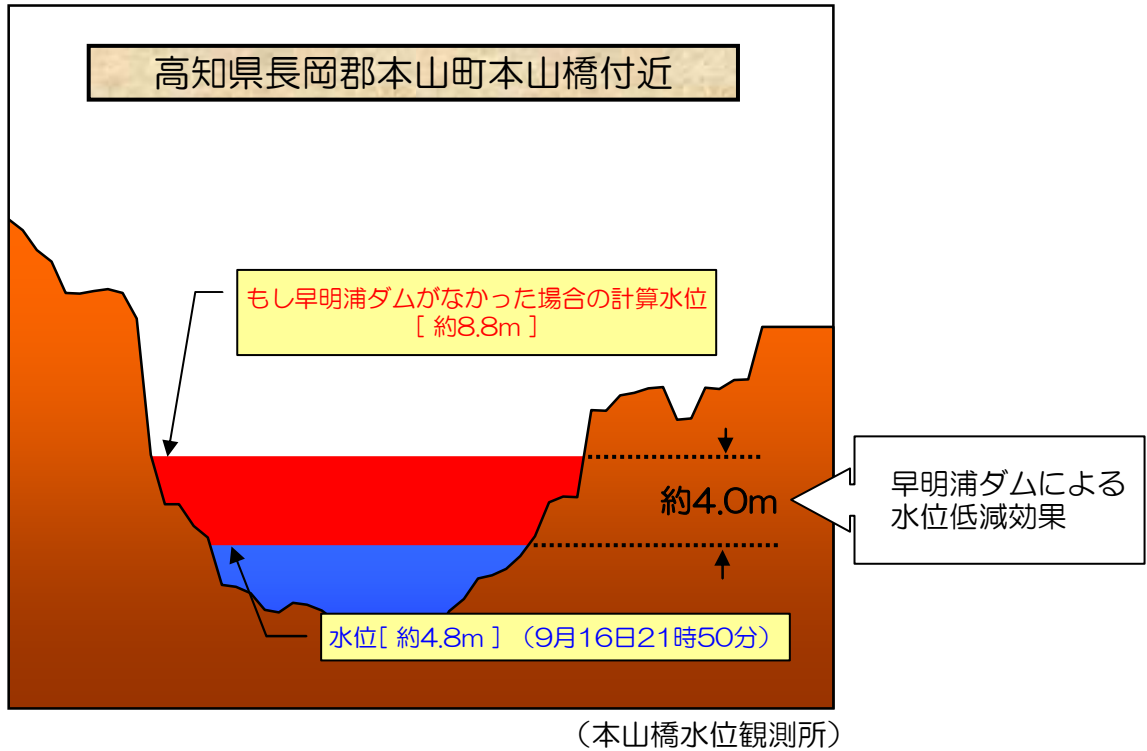
注1) 最大流入時とは下図の通り



④ダム最大流入時の洪水調節効果

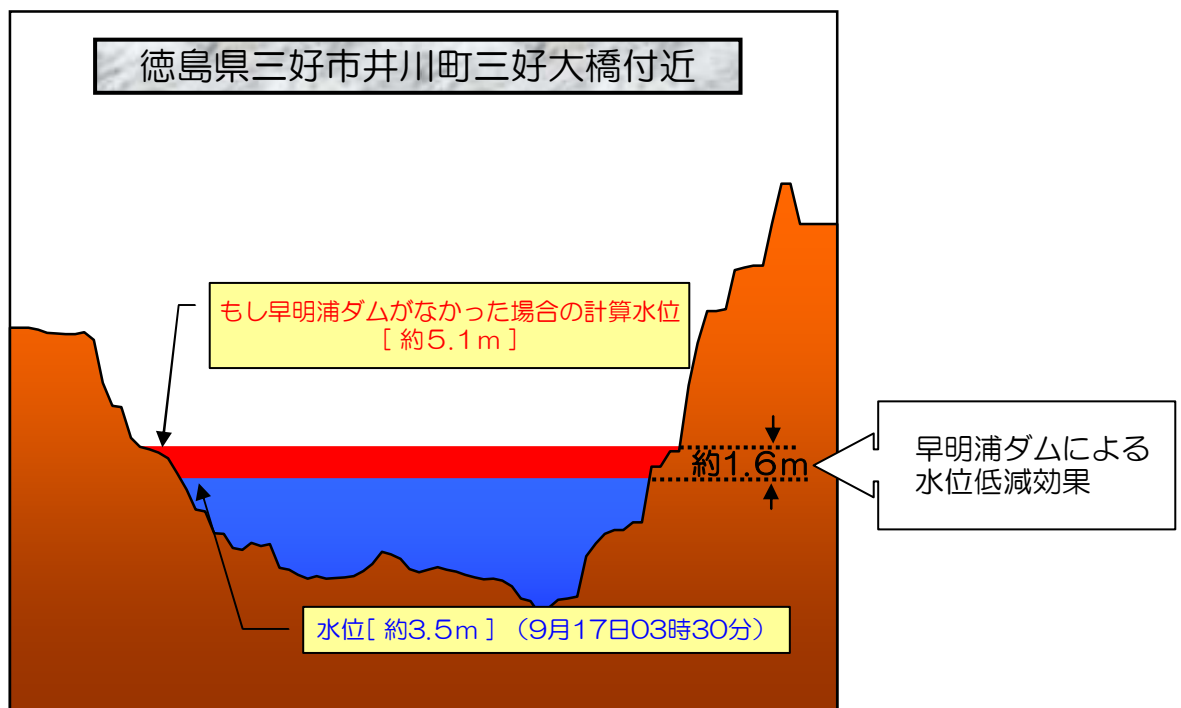
■本山橋付近（高知県長岡郡本山町）

※川幅約150mの河川に対し約4.0mの水位低減が図れた。



■三好大橋地点（徳島県三好市井川町）

※川幅約200mの河川に対し約1.6mの水位低減が図れた。



・吉野川 早明浦ダム（高知県）

吉野川水系吉野川においては、早明浦ダムで毎秒 $1,871\text{m}^3$
 （最大流入量毎秒 $1,930\text{m}^3$ 放流量毎秒 59m^3 との差）
 を調節しており約 $6,179\text{万m}^3$ の洪水を貯留し、下流の水位低減に寄与した。

早明浦ダム諸元（洪水期）

総貯水容量： $31,600\text{万m}^3$

洪水調節容量： $9,000\text{万m}^3$

